

A. 播種準備

4月上旬

○種子消毒(浸種)

健苗な苗づくりは種子消毒が基本です。あきたこまちの種を種子袋に入れて、消毒液につけます。

消毒終了(24時間)後、消毒液をぬき水で洗い更に約1週間、水(水温約10~15℃)に浸して、催芽機で芽出しします。水温は30℃・約28時間で1ミリくらいの芽が出ます。この消毒で、ばか苗病、いもち病、ごま葉枯病を同時防除します。



B. 播種作業

○播種作業

育苗箱に床土を入れ、種子をまき覆土ふくどします。培土ばいど(育苗用土)には秋田県主食集荷商業協同組合の「大黒培土」を使用しています。播種と同時に殺虫殺菌剤を施し、農薬節減を図ります。



【被覆ビニールで保温、芽出しを行う】